

岡山県 最低賃金と採用時の最低時給に関する企業の実態調査 (2024 年 9 月)

採用時の最低時給は 1111 円 人材確保を背景に最低賃金より 129 円高く

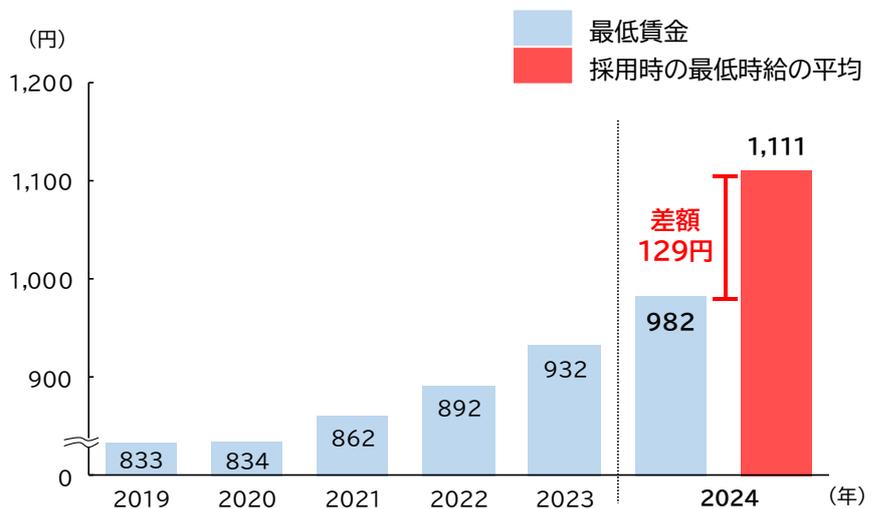
毎年 10 月に改定される最低賃金。2024 年における全国の加重平均は 1055 円となり、2023 年より 51 円高くなった。

目標としていた全国加重平均 1000 円を 2023 年に達成した政府は、次なる目標として 2030 年代半ばまでに 1500 円を目指すことを「経済財政運営と改革の基本方針 2024」(骨太の方針 2024) で示している。また、10 月に行われた衆議院選挙において、各政党は 2020 年代に 1500 円に引き上げることを選挙公約として掲げた。

継続的な賃金の引き上げは、労働者の収入増加による消費の活性化などが期待される一方で、企業経営者にとっては人件費の上昇による収益悪化などが懸念されている。

そこで、帝国データバンク岡山支店では最低賃金と採用時の最低時給に関する企業の実態について調査を実施した。調査期間は 2024 年 9 月 19 日～30 日、調査対象は岡山県に本店を置く企業 448 社で、有効回答企業数は 125 社 (回答率 27.9%)。

■「最低賃金」と「採用時の最低時給の平均」



調査結果 (要旨)

- 従業員採用時の最低時給は平均 1111 円、2024 年度改定後の最低賃金を 129 円上回る
- 中国 5 県別、「岡山県」は最も高く

1. 採用時の最低時給の平均は1111円、最低賃金を129円上回る

正社員、非正規社員を問わず、従業員を採用する時の最も低い時給を尋ねたところ、岡山県の平均は1111円(回答社数125社)となった。2024年度改定後の岡山県の最低賃金時間額(982円)を、129円上回った

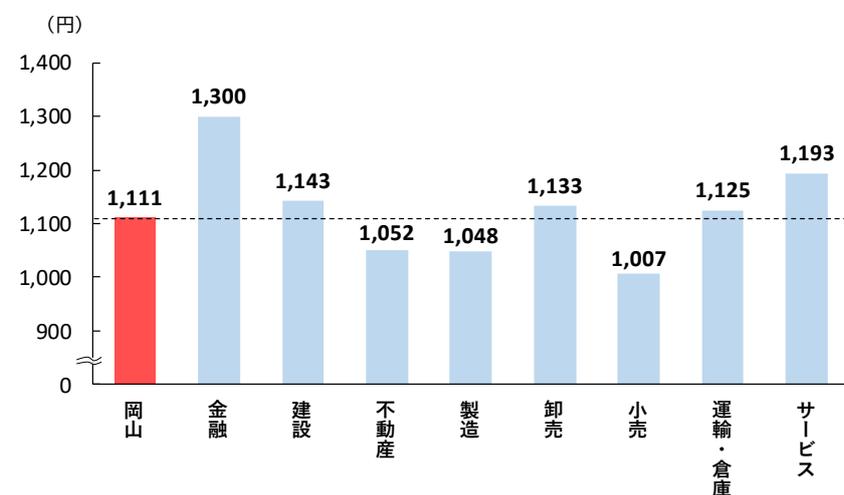
全国と比較すると、全国の平均(1167円)より56円低かった。

規模別で見ると、『小規模企業』が1161円(34社)で最も高かった。次いで、『中小企業』が1111円(106社)、『大企業』が1110円(19社)となり、規模が小さいほど採用時の最低時給(平均)が高かった。

業種別で見ると、『金融』が1300円(3社)で最も高かった。次いで、『サービス』が1193円(29社)、『建設』が1143円(15社)、『卸売』が1133円(20社)、『運輸・倉庫』が1125円(4社)で続き、2024年問題を抱える『建設』『運輸・倉庫』など5業種が岡山県の平均を上回った。一方で、『製造』は1048円(36社)、『小売』は1007円(15社)、『不動産』は1052円(3社)となり、3業種が岡山県の平均を下回った。

従業員数別で見ると、『5人以下』が1225円(23社)で最も高かった。次いで、『301人～1000人』が1175円(5社)で続き、岡山県の平均を上回った。以下、『6人～20人』が1101円(26社)、『21人～50人』が1065円(39社)、『51人～100人』が1084円(18社)、『101人～300人』が1085円(13社)、『301人～1000人』が1175円(5社)、『1000人超』が982円(1社)となった。

■採用時の最低時給の平均額



■採用時の最低時給の平均

	採用時の最低時給(平均)	回答社数	
全国	1,167	8,345	
岡山	1,111	125	
大企業	1,110	19	
中小企業	1,111	106	
うち小規模	1,161	34	
金融	1,300	3	
建設	1,143	15	
不動産	1,052	3	
製造	1,048	36	
卸売	1,133	20	
小売	1,007	15	
運輸・倉庫	1,125	4	
サービス	1,193	29	
従業員数別	5人以下	1,225	23
	6人～20人	1,101	26
	21人～50人	1,065	39
	51人～100人	1,084	18
	101人～300人	1,085	13
	301人～1000人	1,175	5
	1000人超	982	1

注1: 網掛けは、岡山県の全体以上を表す

注2: 母数は有効回答企業125社

2. 中国5県別、『岡山県』は最も高く

正社員、非正規社員を問わず、採用時の最低時給の平均について中国5県別でみると、『岡山県』(1111円)は、最も高かった。次いで『広島県』(1108円)が2番目に高かった。以下、『山口県』が1090円、『島根県』が1048円、『鳥取県』が1000円で続いた。

「採用時の最低時給の平均」と「最低賃金(2024年度の時間額)」を比較してみると、差額が最も大きかったのは『岡山県』の129円だった。次いで、『山口県』が111円、『広島県』が88円、『島根県』が86円、

『鳥取県』が43円で続き、「採用時の最低時給の平均」と「最低賃金(2024年度の時間額)」との差額は、県によって大きな乖離がみられた。

■「最低賃金」と「採用時の最低時給の平均」～都道府県別～

(単位:円)

都道府県	最低賃金 (2024年度の 時間額)	採用時の 最低時給 の平均	差額
北海道	1,010	1,116	106
青森	953	984	31
岩手	952	1,032	80
宮城	973	1,066	93
秋田	951	990	39
山形	955	1,025	70
福島	955	1,040	85
茨城	1,005	1,100	95
栃木	1,004	1,093	89
群馬	985	1,115	130
埼玉	1,078	1,205	127
千葉	1,076	1,202	126
東京	1,163	1,340	177
神奈川	1,162	1,277	115
新潟	985	1,055	70
富山	998	1,146	148
石川	984	1,071	87
福井	984	1,077	93
山梨	988	1,058	70
長野	998	1,079	81
岐阜	1,001	1,153	152
静岡	1,034	1,138	104
愛知	1,077	1,208	131
三重	1,023	1,085	62

都道府県	最低賃金 (2024年度の 時間額)	採用時の 最低時給 の平均	差額
滋賀	1,017	1,080	63
京都	1,058	1,153	95
大阪	1,114	1,269	155
兵庫	1,052	1,160	108
奈良	986	1,088	102
和歌山	980	1,054	74
鳥取	957	1,000	43
島根	962	1,048	86
岡山	982	1,111	129
広島	1,020	1,108	88
山口	979	1,090	111
徳島	980	1,013	33
香川	970	1,051	81
愛媛	956	1,030	74
高知	952	1,047	95
福岡	992	1,131	139
佐賀	956	1,062	106
長崎	953	1,036	83
熊本	952	1,069	117
大分	954	1,076	122
宮崎	952	1,017	65
鹿児島	953	997	38
沖縄	952	1,045	93
全国平均	1,055	1,167	112

注1:「最低賃金(2024年度の時間額)」は、「地域別最低賃金の全国一覧」(厚生労働省ホームページ)より

注2:「採用時最低時給の平均」は、小数点第1位を四捨五入したもの

注3:集計可能な企業を対象に算出

注4:網掛けのうち、下線は値が大きい上位3都道府県、斜体は下位3都道府県を示す

まとめ

本調査の結果、従業員を採用するときの最低時給の岡山県の平均は1111円となった。2024年度改定後の最低賃金982円を129円上回った。最低賃金での募集では継続的な従業員の確保が難しいため、最低賃金を上回る金額に引き上げざるを得ない企業が多いとみられる。業界間の格差が表れる一方で、物価の違いなどにより、地域間での格差も顕著となり、2024年度の最低賃金時間額と採用時の最低時給に大きな乖離が生じていることがわかった。政府は、最低賃金の引き上げを続けるだけでなく、人手不足や価格転嫁への対応、社会保障制度の改定など、企業の経営状況がひっ迫しないよう政策を打ち出していく必要がある。

企業からのコメント

- ・ 価格転嫁できる業種は良いが、手数料が売り上げの会社はメーカーが理解していないと非常に
緊迫した経営状態になる (損害保険代理)
- ・ 人件費の上昇による物価高騰が今後も続くだろう (化学品製造)
- ・ 大企業なら理解できるが、零細企業にとって給与のアップは死活問題 (電気機械器具卸)
- ・ 売上が低迷しているなか、人件費の高騰により人材の採用をしたいが難しい (家具小売)
- ・ 大幅な最低賃金の引き上げが行われるが、政府の言うように、増加する費用分を簡単に転嫁す
ることは中小企業においては非常に難しい。大企業のみ残り、中小企業が倒産する懸念がある
(食料品卸)
- ・ 改定されても大都市と地方の差は埋まらないばかりか広がる一方 (食料品小売)
- ・ 最低賃金の上昇に伴い、正社員の処遇改善の検討が必要となるが、このまま同ペースの最低賃
金の上昇が繰り返されると破綻しかねない (建設)
- ・ 中小企業が立ち行かなくなる (食料品製造)
- ・ 地方の中小企業の実情に配慮した緩やかな引き上げが必要 (娯楽サービス)
- ・ 大手企業が値下げを要求するなか、人件費を上げなければならないのは苦しい
(その他サービス)
- ・ 中小企業の値上げを大企業が受け入れず、賃上げは非常にきつい (パルプ・紙・紙加工品製造)
- ・ 103万円の壁も上げないと世帯収入は増えない。時給だけ上がっても意味がない
(繊維製品・服飾品卸)
- ・ 物価上昇や人員確保など解決は困難であるが、採用条件のアップは仕方ない (中古自動車卸)

【問い合わせ先】 株式会社帝国データバンク 岡山支店 担当：越久田^{おくだ}
 TEL : 086-224-4681 FAX : 086-223-1719

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
 当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。
 著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。